

金型づくりと金型統計要覧を发表

信州大学客員研究員 藤本敏樹氏

日本の金型産業力や東南アジア（主に韓国・タイ・上海・シンガポール）の金型づくり、日本と東南アジア、日本と欧米諸国の金型貿易統計を

時系列で分析できる貴重な調査・研究書が今年3月、発表された。発行は、信州大学経営大学院

本と東南アジアの金型づくりや貿易の視点でまとめたものは本書が初めて。

編集の骨格は、韓国、

タイ、上海、シンガポールの金型産業の「現状」を分析した「金型づくり」（第1部）と日本の金型工業統計（2008年）や生産、アジア諸国との貿易統計を時系列的にまとめた統計要覧（第2部）の2部構成。A4版158ページで、第1部が51ページ、第2部が100ページを占める。この1冊の「金型産業書」を手元に置けば、マーケティング戦略資料として使え、経済産業省が進める金型ビジョン作りの参考にもなる。

藤本氏は「国内外の金型産業の比較や国際競争力の強化策に若干の提言を行った。金型産業の振興に活用され、ビジョンの実現化に資することを期待したい。また、インベションをはじめとする調査研究、産学連携プロジェクトの事業化支援に活用されることを期待したい」としている。

<月刊>

2011年/平成23年

(毎月10日発行)

第415号

金型新聞

7月6日(水)

昭和55年7月25日第三種郵便物認可